※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語 （英語）	総合英語	2	3 （普通科）	be English Logic and Expression Ⅱ Clear（いいずな書店） English Logic and Expression Ⅱ be Clear Workbook（いいずな書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・総合英語の授業では、論理・表現Ⅱで学んだ内容を復習しながら、英語で「話すこと」「書くこと」技能の力をさらに伸ばすことを目標とします。授業では、読んだり聞いたりする内容を正確に理解し、その内容について自分の意見を持ち、積極的に活動に参加してください。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションにおいて、どのように使われるかということを意識して学習してください。その知識を用いて、「英語で伝える」ということを目標に学習してください。

・音読は４技能の中でも特に「聞くこと」「話すこと」を身につける大事な練習の１つです。英語の発音、リズム、イントネーションに気を付け、聞いている人にきちんと伝わるように音読練習をしてください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される英文を聞き取ったあと、リピートすることができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきりと話された日本や世界で起こっている問題点や世界の文化等、一般的な情報についての英文を聞き取り、内容を理解することができる。	・日本の文化や社会の問題といった一般的な内容やデータ比較についての文章を読み、理解することができる。 ・80語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをともない音読することができる。	・ディベートの形式や基本的なルールを理解し、肯定と否定の立場で意見をやり取りすることができる。 ・意見を出し合ったり、情報を交換し合ったりする表現方法や、議論の態度を理解し、実際に議論をすることができる。	・スピーチ原稿をつくるための基本的な構成方法や、スピーチをする際に求められる態度を理解し、実際にスピーチすることができる。 ・プレゼンテーションによく用いられる表現方法を理解し、実際にプレゼンテーションすることができる。	・伝えたい意味に応じて、適切な文法事項を用いて、自分の意見や説明の文章を書くことができる。 ・パラグラフの基本的な構成方法や、注意点を理解し、実際にパラグラフを書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

※令和４年度以降入学生用

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を、４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、学習した語句や文法事項を活用しながら課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、主体的、自律的に参加し、英語を用いてコミュニケーションを図るとともに、自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson 8 Imagining the Future Lesson 9 Happiness and Stress	聞くこと	a: 不定詞、分詞、副詞、副詞句、副詞節の働きについて理解している。 b: 未来の暮らし、幸せを感じるときを読み取って、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。またその英文を聞いて、内容を理解している。 c: 食糧問題、幸せを感じるときの英文を聞いて、内容を理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: 不定詞、分詞、副詞句、副詞節の働きについて理解している。 b: 未来の暮らし、幸せを感じるときを読んで、内容を理解している。 c: 食糧問題、幸せを感じるときの英文を読んで、内容を理解しようとしている。	小テスト 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 不定詞、分詞、副詞句、副詞節の働きについて理解している。 b: 未来の暮らしにおける食料問題、幸せに必要な要素から読み取れることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 未来の暮らしにおける食料問題、幸せに必要な要素から読み取れることについて，筋道を立てて伝え合おうとしている。	授業観察 課題提出
		話すこと （発表）	a: 不定詞、分詞、副詞句、副詞節の働きについて理解している。 b: 未来の暮らしにおける食料問題、幸せに必要な要素から読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。 c: 未来の暮らしにおける食料問題、幸せに必要な要素から読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。	スピーキング活動への主体性 発話評価
		書くこと	a: 不定詞、分詞、 副詞句、副詞節の働きについて理解している。 b: 未来の暮らしにおける食料問題、ｽﾄﾚｽ解消法から考えたことについての自分の考えを、60 語程度で書くことができる。 c: 未来の暮らしにおける食料問題、ｽﾄﾚｽ解消法から考えたことについて自分の考えを 60 語程度で書こうとしている。	課題提出 定期考査
	中間考査			
		聞くこと	a: 比較や仮定法を表す表現について理解している。 b: 世界のデータを比較、文化の多様性についての英文を聞いて、内容を理解している。 c: 世界のデータを比較、文化の多様性についての英文を聞いて、内容を理解しようとしている。	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 10 Comparing Countries Lesson 11 Cultural Diversity	読むこと	a: 比較や仮定法を表す表現について理解している。 b: 世界のデータを比較、文化の多様性についての英文を読んで、内容を理解している。 c: 世界のデータを比較、文化の多様性についての英文を読んで、内容を理解しようとしている。	小テスト 定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 比較や仮定法について理解している。 b: 多文化共生、時代とともに変わっていく習慣について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 多文化共生、時代とともに変わっていく習慣ついて、筋道を立てて伝え合おうとしている。	授業観察
		話すこと（発表）	a: 比較や仮定法について理解している。 b: 世界のデータを比較し、多文化共生についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。 c: 世界のデータを比較し、多文化共生についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。	スピーキング活動への主体性 発話評価
		書くこと	a: 比較や仮定法について理解している。 b: 世界のデータを比較し、多文化共生についての自分の考えを、70 語程度で書くことができる。 c: 世界のデータを比較し、多文化共生についての自分の考えを、70 語程度で書こうとしている。	課題提出 定期考査
	期末考査			
2 学期	Lesson 12 Japanese Custom Lesson 13 Population Issues	聞くこと	a: 要求・必要を表す表現、認識の表現、時制の一致、話法、存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。 b: 日本の文化、日本の人口問題についての英文を聞いて、内容を理解している。 c: 日本の文化、日本の人口問題についての英文を聞いて、内容を理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: 要求・必要を表す表現、認識の表現、時制の一致、話法、存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。 b: 日本の文化、日本の人口問題についての英文を読んで、内容を理解している。 c: 日本の文化、日本の人口問題についての英文を読んで、内容を理解しようとしている。	小テスト 定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 要求・必要を表す表現、認識の表現、時制の一致、話法、存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。 b:文化や習慣の変化、 少子化問題について、調べたことや自分の意見をお互いに伝え合うことができる。 c: 文化や習慣の変化、少子化問題について、調べたことや自分の意見をお互いに伝え合おうとしている。	授業観察
		話すこと（発表）	a: 要求・必要を表す表現、認識の表現、時制の一致、話法、存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。 b: 文化や習慣の変化、少子化問題について、調べたことや自分の意見を、筋道を立てて詳しく話すことができる。 c: 文化や習慣の変化、少子化問題について、調べたことや自分の意見を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。	スピーキング活動への主体性 発話評価
		書くこと	a: 要求・必要を表す表現、認識の表現、時制の一致、話法、存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。 b: 文化や習慣の変化、少子化対策やその改善策についての自分の考えを、80 語程度で書くことができる。 c:文化や習慣の変化、少子化対策とその改善策についての自分の考えを、80 語程度で書こうとしている。	課題提出 定期考査
	中間考査			
		聞くこと	a: 使役動詞、分詞を使った「させる・される」の表現、知覚動詞について理解している。 b: 女性が活躍できる社会についての英文を聞いて、内容を理解している。 c: 女性が活躍できる社会についての英文を聞いて、内容を理解しようとしている。	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 14 Rights and Equality Discussion	読むこと	a: 使役動詞、分詞を使った「させる・される」の表現、知覚動詞について理解している。 b: 女性が活躍できる社会についての英文を読んで、内容を理解している。 c: 女性が活躍できる社会についての英文を読んで、内容を理解しようとしている。	小テスト 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 使役動詞、分詞を使った「させる・される」の表現、知覚動詞について理解している。 b: 人権問題について、調べたことや自分の意見をお互いに伝え合うことができる。 c: 人権問題について、調べたことや自分の意見をお互いに伝え合おうとしている。	授業観察
		話すこと （発表）	a: 使役動詞、分詞を使った「させる・される」の表現、知覚動詞について理解している。 b: 人権問題について、調べたことや自分の意見を、筋道を立てて詳しく話すことができる。 c: 人権問題について、調べたことや自分の意見を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。	スピーキング活動への主体性 発話評価
		書くこと	a: 使役動詞、分詞を使った「させる・される」の表現、知覚動詞について理解している。 b: 人権問題とその改善策についての自分の考えを、80 語程度で書くことができる。 c: 人権問題とその改善策についての自分の考えを、80 語程度で書こうとしている。	課題提出 定期考査
	期末考査			

3 学期	Lesson 15 Think Globally, Act Locally Paragraph Writing	聞くこと	a: 英語らしい表現方法・無生物主語や受動態について理解している。 b: SDGs についての英文を聞いて、内容を理解している。 c: SDGs についての英文を聞いて、内容を理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: 英語らしい表現方法・無生物主語や受動態について理解している。 b: SDGs についての英文を読んで、内容を理解している。 c: SDGs についての英文を読んで、内容を理解しようとしている。	小テスト 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 英語らしい表現方法・無生物主語や受動態について理解している。 b: SDGs について、調べたことや自分の意見をお互いに伝え合うことができる。 c: SDGs について、調べたことや自分の意見をお互いに伝え合おうとしている。	授業観察
		話すこと （発表）	a: 英語らしい表現方法・無生物主語や受動態について理解している。 b: SDGs についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。 c: SDGs についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。	スピーキング活動への主体性 発話評価
		書くこと	a: 英語らしい表現方法・無生物主語や受動態について理解している。 b: SDG の目標達成のための方法についての自分の考えを、80 語程度で書くことができる。 c: SDG の目標達成のための方法についての自分の考えを、80 語程度で書こうとしている。	課題提出 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度